

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2021年5月10日

No 401

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

第92回メーデーLIVE中継

5月1日(土)の第92回中央メーデーは、感染拡大防止のために規模を大幅に縮小して代々木公園野外ステージで、役員やスタッフのみの参加となりました。(写真は高田さん)

今年のメーデーは、新型コロナウイルス感染の収束が見えない中で、コロナ解雇が10万人を超えるなど、労働者の実態が深刻化する中で開催されました。

主催者あいさつで小畑雅子代表委員(全労連議長)は、医療・公衆衛生の逼迫・崩壊は、新自由主義による公共サービス切り捨てが根底にあるとして「命を守ることを最優先に取り組む」事を訴えました。雇用とくらしの課題では女性と非正規労働者に矛盾が集中しており運動の更なる取り組み強化を訴えました。政府・財界がコロナ禍便乗で進める「成長戦略」を批判し、格差をなくす公正な社会を訴えました。

(各地での取り組みを掲載しています)



群馬高崎市・西毛メーデー

薄日が差す中、高崎市シティーギャラリーで西毛メーデーが開催されました。高崎地区労会議議長の挨拶のあと、高崎市教祖などとともに電機・情報ユニオン群馬支部も、会場にかざした横断幕を示し、電機のリストラ状況を報告。安心して働ける社会を目指してともに闘いますと決意を表明しました。メーデー宣言を採択し、近くの交差点でスタンディングアピールしました。参加人数は100人、沖からは4人の参加でした。

群馬中央メーデーは、前橋中央イベント広場で150人の参加で開催し集会後、街中をデモ行進しました。(平井)

埼玉本庄・児玉メーデーでデモ行進

少し曇り空の下「本庄・児玉地域メーデー」が開催されました。地労連議長の開会挨拶に続き、各参加団体の連帯挨拶が行われました。

沖電気の職場を明るくする会からは、「同一労働・同一賃金の社会、なくそう格差、契約社員にも退職金を」の横断幕と手作りのプラカードを掲げ、真喜志



ふくみ支部長が挨拶。集会終了後は市内をパレードしながら市民に訴えました。(相原)

今月号の紙面

- ①第92回メーデーは代々木公園で
- ②全国地域での第92回メーデー
- ③電機の「ジョブ型」導入について
- ④茨城対策会議で「労働法学習会」
- ⑤NEC伊草闘争で「第3回総会」
- ルネサスの「株主総会」取り組む
- ⑥ラプラス「富山紹介」橋場さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧6・6電機リストラ反撃交流会
- 争議支援総行動。集積回路